

秋田県ではタガメが絶滅しそうです！

県内絶滅を防ぐために

近年のタガメ生息情報を集めています！

タガメを脅かす存在の

ウシガエルと**アメリカザリガニ**の生息情報
も教えてください！

みなさんの観察・報告が、調査研究や保全活動に役立ちます

タガメの情報求む！
秋田県では絶滅寸前です！

写真：トノサマガエルを捕食するタガメ
長船裕紀（一社）鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会
※秋田県外で撮影したもの

【保護者の方へ】

かつてタガメは、日本各地、そして秋田県内の水辺にも広くすむ身近な生きものでした。しかし、この50年ほどの間に、農薬の普及や農地整備の影響により、姿を消してしまいました。

さらに追い打ちをかけているのが、外来生物であるウシガエルやアメリカザリガニです。これらはタガメを捕食したり、生息環境を壊したりするため、県内でも急速に広がり続けています。その結果、タガメの生息地はほとんど失われ、近い将来、秋田県から絶滅してしまう恐れがあります。

そこで、みなさんのお近くでタガメを見かけた際には、ぜひ情報をお寄せください。いただいた情報をもとに関係者と連携し、外来生物の対策を急ぎたいと考えています。

貴重な自然の一員であるタガメを、次の世代に残していけるよう、どうかご協力をお願いいたします。

タガメと似ている種

※これらすべて秋田県内に生息しています

原寸大 ※A4印刷の場合

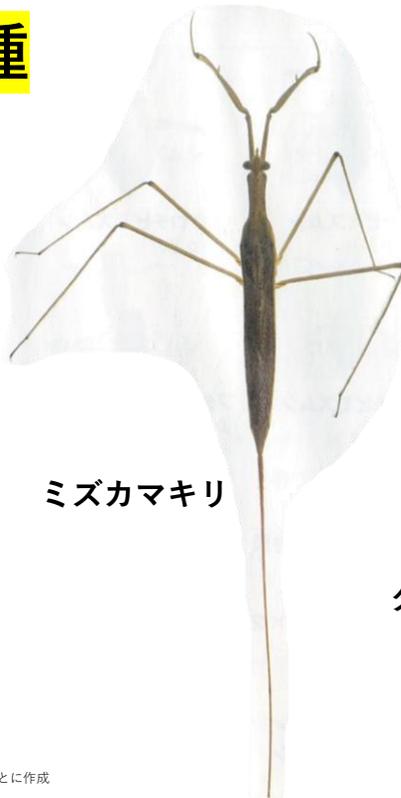
特に間違われやすい仲間

オオコオイムシ



成虫
(約24mm)

繁殖期の雄は卵を背負っていることがあります(右)



ミズカマキリ



タイコウチ

「(株)文一総合出版(2017)水生昆虫②タガメ・ミズムシ・アメンボハンドブック」をもとに作成

タガメはこれ!

※幼虫が見られる期間は、6月～8月中

原寸大 ※A4印刷の場合

※秋田県では絶滅寸前!



1 齢幼虫
(約10mm)
この時だけ
体にシマ模様がある

2 齢幼虫
(約15mm)

3 齢幼虫
(約20mm)

4 齢幼虫
(約30mm)

5 齢幼虫
(約45mm)

成虫
(48-65mm)

「(株)文一総合出版(2017)水生昆虫②タガメ・ミズムシ・アメンボハンドブック」をもとに作成

ウシガエルとはこんなカエル

体長は12～18cm程度になります。体色は緑色から褐色まで様々で、虎斑模様が入るものが多くみられます。背中に背側線がないこと、大きな鼓膜が特徴(オスは目より大きく、メスは目と同じくらい)です。

